



今年度の大学祭は、コロナ禍の収束が未だ見えてこないことから、模擬店などの対面での企画の実施を見送り、「映像コンテスト」を実施することとなった。

学内で募集して、応募者が出席した映像作品を、11月20日、21日の大学祭当日に限定配信し、コンテストで審査、優秀な作品については表彰を行うものである。作品のテーマは限定しない。活動を紹介します、知識を与える、エンタメなどジャンルを問わない。

教職員1名の参加が必須であ



今年度の大学祭は、コロナ禍の収束が未だ見えてこないことから、模擬店などの対面での企画の実施を見送り、「映像コンテスト」を実施することとなった。

学内で募集して、応募者が出席した映像作品を、11月20日、21日の大学祭当日に限定配信し、コンテストで審査、優秀な作品については表彰を行うものである。作品のテーマは限定しない。活動を紹介します、知識を与える、エンタメなどジャンルを問わない。

教職員1名の参加が必須であ

キラリ☆輝く人

第101回手塚賞準入选受賞

経営学部4年の「だて（ペンネーム）」と申します。今回、漫画賞の第101回手塚賞に準入选することができました。このような大きな賞をいただいたことは初めてのので凄く嬉しいです。子どもの頃から漫画家になりたいという夢があり、在学中に何とか一作仕上げようと思い、学業や部活動との両立を図りながら執筆を行いました。家族や友人、大学の先生方の支えがあり、受賞することができました。この感謝の気持ちを忘れず、これからも良い作品を作り続けていきたいと思っています。

が、本学生であれば応募可能で、1作品につき、参加費5万円が支給され、表彰の際には賞状と賞金が贈呈される。

大学祭実行委員会による企画書と作品集ポスターにより募集した結果、各学部・学科及びクラブ・サークル等より多数の応募があり、実施に向けて準備中である。

高松大学ハンドボール部 全日本インカレに出場決定!

8月11日から福岡県で開催された「第60回西日本学生ハンドボール選手権大会」に高松大学ハンドボール部が出場した。

初戦の相手は、九州共立大学。序盤は硬さもみられたが、徐々に自分たちのペースを作ることができ、32対18で勝利することができた。

2回戦の相手は、東海地区1位の中京大学。ディフェンスがかみ合わず、またそれによる焦りでミスが続き、23対31で敗戦した。

最終試合の全日本インカレ出場決定戦であった近畿大学との試合では、前日までの反省を生かし、精度の



悪い場所からシュートを打たせるディフェンス、そしてそこからの速攻による得点を武器に戦い抜いた。その結果、28対23で勝利し、全日本インカレへの出場を決めた。

11月6日より山梨県で開催される全日本インカレでは、上位入賞できるよう、日頃の練習から全力で取り組んでいきたい。

◆小学校教員採用試験を受験して

発達科学部子ども発達学科4年



落合 駿希
6月19日に
高知県、7月
18日、20日に

香川県で実施された小学校教員採用試験を受験し、一次合格の吉報を受けました。

「共に頑張る」は、教員採用試験に向けての発達科学部の心得です。個人で受ける試験をチームで頑張ることの大切さを今、実感しています。



採用試験を受ける学生のために、先生方は多数の講座を開講し、あらゆる面で支えてくださいました。

で、より深い学びに繋げることができました。当日の試験でも先生方に教わったことや友人と共に学び合った内容が出题され、共に頑張った仲間が存在を近くに感じながら一次試験に臨むことができました

た。

また、二次試験に向け、仲間と共に毎日模擬授業の練習に励みました。そして、先生方には面接の練習を何度も見ただけでなく、二次試験に自信を持って臨むことができました。

◆さぬきこどもの国「はぐくみ×カレッジ」に参加して



保育学科2年 森 瑞季

6月27日、私たちは未就学児とその保護者を対象とした遊びイベント「はぐくみ×カレッジ」に参加しました。

保育第2研究室は、絵本『ぐりとぐら』の人形劇を演じ、心理学研究室は、「ぐりとぐら」と「ぐら」と3人の仲間が、「たまごカー」に乗ってお出掛けする創作劇を披露しました。劇中には、歌や踊りなどの楽しい親子遊びやふれ合い遊びを取り入れ、子どもたちが絵本の世界を思う存分楽しめるよう、言葉や声、表情にも気をつけながら演じました。感染防止対策を図りながらではありますが、子どもたちが身を乗り出して真剣な眼差しで観劇する姿、一緒に歌って踊って楽しむ様子にとっても感動しました。

準備から本番までの数々の学びを、そして子どもたちの笑顔に励みに、これからも勉学に精進し、子どもの気持ちに寄り添うことができる保育者になりたいです。準備段階から丁寧にご指導くださり、時に励ましてくださった「さぬきこどもの国」のスタッフの皆様にも、心より感謝申し上げます。

◆医療事務技能審査試験(メデイカルクラーク)教育優秀校2回目の受賞

秘書科医療事務コースのスタートダッシュ検定に位置付けている医療事務技能審査試験(メデイカルクラーク)で、本学秘書科が平成29年度に引き続き、令和2年度(現在の2年生が1年生の時に受験した結果)における教育優秀校に選ばれ、表彰された。



医療事務コースが誕生してから2回目の受賞となる。今回は、全国22



2校の団体受験校から総合的に評価し、特に優秀な20校が選ばれたもので、短期大学では本学が唯一の受賞となった。受賞に貢献した学生の1人である医療事務コース2年生の榎原紗羅さん

は、「入学してすぐに新型コロナウイルスの影響で在宅学習となり、検定に合格できるかすごく不安でした。しかし、自宅での復習やわかりやすい資料作りなど、日々の努力とみなで諦めずに頑張った結果として、受賞することができたのだと思います。今回の受賞を誇りに思い、残りの学生生活をより良いものにしていきたいです」と抱負を語ってくれた。

探訪/研究室

発達科学部 徳岡 大



●自己紹介

教育心理学が専門です。あと心理統計も好きです。日々珈琲を淹れて、授業をして、ジャグリングをして、たまにデータ分析をしてという日々を送っています。

●ゼミナールの特徴

心理学と保育や教育を関係づけながら、なんでも扱っています。文章に書かれていることを正確に読み取り、要約することを基本にして、発表を行ってもらっています。

●ゼミ生へ一言

ゼミは自分たちで楽しくしてください。自律的で理論的な、そんな学生になってくれると嬉しいですよ。

●二十歳の時の自分

臨床心理士の資格を取ってカウンセラーになりたいと思っていました。その後、卒業研究が楽しくなって、研究者になろうと進路変更しました。

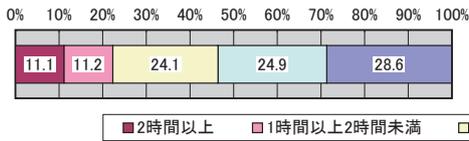
令和2年度 学生による授業評価

本学では、教育活動がどのようになされているかの一端を把握し、授業内容・方法の改善・改革に資することを目的に、平成14年度から学期末に「学生による授業評価」を実施している。集計結果は、個々の授業ごとに担当教員のコメントを付して、翌年度の5月31日付けで報告書として発刊し、図書館で閲覧できるようにしている。また、ホームページに大学、短大それぞれの全体集計結果を掲載している。

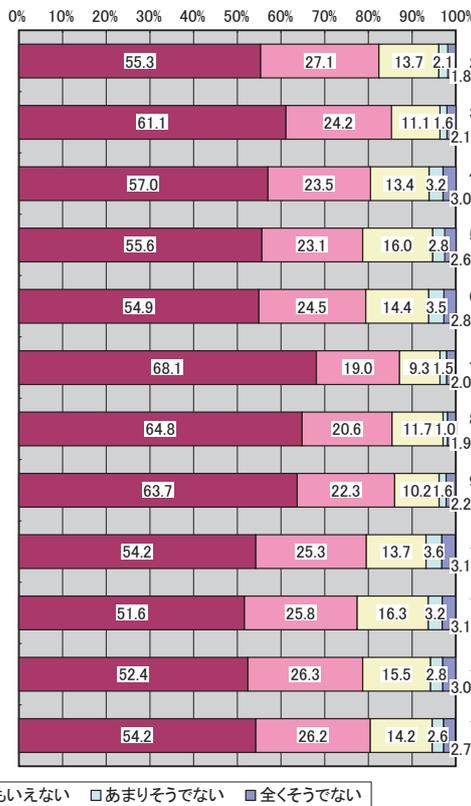
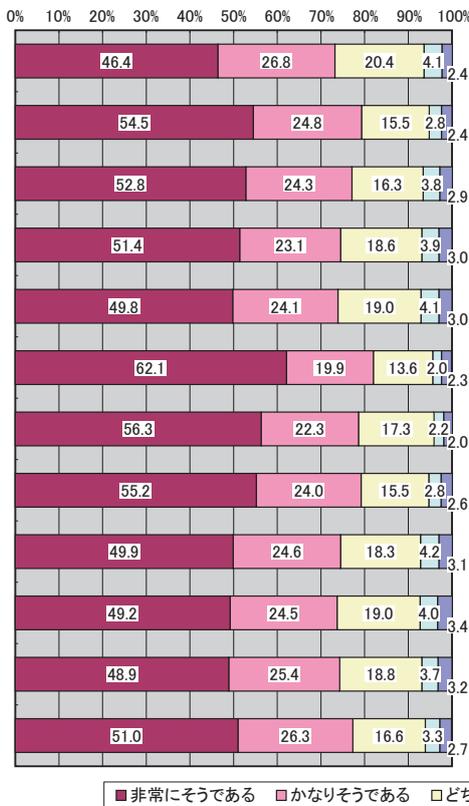
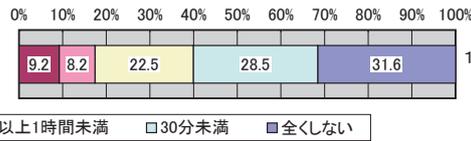
次のグラフは、令和2年度に実施した全体の集計結果である。回収率は、大学が74.07%、短期大学が89.2%であった。

また、本学の「授業評価による教員表彰に関する規程」に基づき、令和2年度の授業評価において優秀な評価を得た教員として、大学から発達科学部の田中美季教授、短期大学から秘書科の秋鹿悦子講師、大学院から井藤正信教授が表彰された。

高松大学



高松短期大学



設備紹介 オンラインでの就活をしっかりとサポート！

新型コロナウイルスの感染拡大で、就職活動における企業説明会・面接等やインターンシップのオンライン化が加速したことから、就職資料室に「WEB用ブース」を8月2日に設置しました。

このブースは、学生が良好なネット環境のもと、静穏で安心してオンライン選考等に臨めるよう遮音性に優れています。さらに、天井照明に加えて左右にLED照明が設置されており、オンライン画面上に顔の表情を鮮明に映し出す仕様となっています。また、換気ファンによって、ブース内の空気が常に循環して快適な環境を保ちます。

利用希望の学生は、事前に予約が必要なため、キャリア支援課まで申し出てください。

★利用可能時間 平日9時～17時 ★TEL：087-841-2225 (キャリア支援課直通)





さぬき市と連携協力に関する協定を締結

8月11日、さぬき市と本学との連携協力に関する協定式があり、さぬき市の大山市長と本学の佃学長が協定書にサインした。本協定は、相互の連携・協力により、人的・物的資源を活用し、個性豊かな地域社会の形成、地域課題の解決を図り、地域社会の振興と発展に寄与することを目的としている。

協定締結後、大山市長は、「高松大学・高松短期大学より、学問から得られる知的なアドバイスをいただき、子育て支援などの地域貢献の底上げを図り、さらなる地域の活性化を期待している。」、佃学長は、「さぬき市の歴史と豊富な資源について探究し、相互がますます発展し、存続していくために貢献していきたい。」と抱負を述べた。



本学ホームページの「ピオトープ」だーちゃんの森「日記」を更新しています。主にピオトープのお世話をされている発達科学部 秋山先生より投稿いただき、ピオトープで見られる植物の紹介などを掲載しています。更新は不定期ですが、よかったら覗いてみてください。

ピオトープとは、動植物が生息する空間で、本学2号館南側広場を利用して造成しており、教員をめざす発達科学部の学生を中心としたチームで動植物の採集、育成に取り組んでいます。



認定こども園高松東幼稚園ニュース

夏の大冒険 ～年長・宿泊保育～



年長児の一大行事、「宿泊保育」。昨年はコロナの影響で、宿泊なしで園での「お楽しみ保育」になりました。そして、今年も紆余曲折がありましたが、屋島少年自然の家の先生方が受け入れ態勢を整えて下さり、対策を十分に講じた上での宿泊が実現しました。

子どもたちの夏の大冒険は、先に到着して準備をしていた先生たちのトンネルを通過して始まります。海で、いかだに乘ったり泳いだりした後は、山で虫捕り。夕ごはんを済ませてキャンプファイヤーに向かう道中には、大きな試練となる肝だめしがあります。火を囲んで、みんなで歌ったり、踊ったりして存分に楽しみ、

日は暮れていきました。お風呂に入って布団に入ると子どもたちはあっという間に夢の中へ…。

宿泊保育のねらいでもある、先生の話をよく聞き、自分のことは自分で頑張った子どもたち。お迎えに来てくださった保護者の方々と目が合った時の安堵した表情から大きな成長を感じました。ワクワクドキドキした貴重な経験は、これからの頑張る力の源になっていくことでしょう。



学生への食料等のご支援について(御礼)

昨年より、全国食支援協力会様、香川県社会福祉協議会様、高松市社会福祉協議会様を通じて、本学学生への食料等のご支援をいただいております。

新型コロナウイルス感染症は学生たちの生活にも様々な影響を及ぼしておりますが、皆さまからのご支援を受け、学生たちは、ありがたく頂戴しております。

全国食支援協力会、香川県社会福祉協議会、高松市社会福祉協議会の各会の皆さま及び各会を通じて食料等をご寄付いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

編集後記

☆本学は、県立保健医療大学と協力し、双方の学生及び教職員並びに近隣地域の幼稚園保育所等の教職員など約1200名を対象に、新型コロナウイルスワクチン接種を実施しました。